

豊後牛について

～後継者や新規就農者確保が重要～



しゅ どう まさ みつ
首藤 正光

緑政会

質

全国的にも豊後牛の名前が有名となったが、担い手不足とも聞く。今後の畜産を振興するためにも担い手問題を伺う。

答

市長

本市の肉用牛の飼養者数は、平成29年11月1日現在で172戸です。飼養者の平均年齢は69歳で、年齢別構成では70歳以上が53%、



第11回全国和牛能力共進会で
内閣総理大臣賞を獲得

80歳以上が15%と、年々高齢化が進んでいる状況です。一方で、若い生産者の中には、増頭に向けて畜舎の増築や、全国和牛能力共進会予選会や県共進会に積極的に出品するなど、後継者

として和牛に人並ならぬ愛情をかけながら、意欲を持って取り組んでいる方もいます。飼養者の減少対策は喫緊の課題で、特に後継者と新規就農者を確保していくことが重要です。国、県等の関係

機関と連携し、空き牛舎の活用や耕作放棄地を利用した放牧事業、預託システムなどを積極的に推進し、新規就農者や後継者を育てるための実効性ある施策を推進していきます。

質

豊後牛肉(朝地牛)の販売等、今後の対策は。

答

市長

現在、県協議会が「おおいた豊後牛」の取扱店として、県内207店、県外46店、海外1店、合計254店を認定しています。

J A朝地肥育牛試験研究センターにおける昨年度の出荷頭数は118頭で、歩留・肉質等級A4、A5の割合が80%と良い格付けで、そのほとんどが県内で消費されています。

第11回全国和牛能力共進会で日本一の称号を得たことを契機に、「おおいた豊後牛」の銘柄を確立していくことが必要と考えます。



みや なり あき よし
宮成昭義

創生会

公民館機能をさらに充実し利便性の向上を図るためには、千歳支所と併設する千歳保健センターも含めた改修がより効果的であると判断に至りました。施設の利活用は、効果的かつ市民サービスの充実に資する施設となるように努めます。

質
市長

市道下山片島線のインター化は平成25年12月議会の一般質問で、平成29年度完成に向け協議を進めているとのことであったが、現在の状況は、また、県道山内新殿線の完成時期は。



市道下山片島線

質

平成30年度は土地評価替えの年だが、評価替えの算定手法は。

答
税務課長

評価替えは3年間の評価変動や資産の状況変化等に対応した、適正かつ均衡のとれた価格に見直すものです。

質

千歳町の説明会は、改修とすることで資料不足ではなかったか。

答
総務課長

市民説明会での意見や要望は財政面等の整合性を総合的に勘案し、設計の段階に入っています。設計業務の基本的部分ができ次第、皆さまにお知らせしていきたい。

質

説明会で保健センターの方向性も示すことなく、公民館施設とのことで町民の納得が得られたと考えているのか。

地域コミュニティセンター構想、
A4用紙1枚の資料は説明不足では

「設計業務の基本的な部分ができ次第、お知らせする」

市道下山片島線の完成は

～早期完成に向け取り組む～

答
建設課長

下山片島線は、路体盛土の自然転圧の期間が必要と判断し、本年度は工事を見送ったところですが、交付金が減少傾向にあり、予算確保が厳しい状況ですが、早期完成に向け取り組みます。

土地評価替えの算定手法は

～固定資産評価基準により見直し～